

アウトカム指標からみる『横須賀子ども未来プラン（平成27年度～令和元年度）』の成果

- 5年間の総括として、個別事業の実施状況（アウトプット）とは別に、計画全体の成果（アウトカム）について評価を行います。
- 評価に用いるアウトカム指標は、プランの大柱ごとに設定した「アンケート調査結果等から求める姿」に関連のある指標を選択しています。

1. 大柱1のアウトカム指標

大柱1	子育て支援の推進
中柱	(1) 幼児期の教育・保育の充実 (2) 家庭等における子育て支援の充実 (3) 子育て支援に関するネットワークづくりの支援 (4) 子育てしやすいまちづくりの推進
アンケート調査結果等から求める姿	● 子育てを楽しいと思えるようなまちを目指します。 ● 待機児童がないまちを目指します。

(1) 子育てを楽しいと感じるか（アンケート調査※から）

		平成25年	平成30年
楽しいと感じることの方が多い	就学前児童の保護者	70.1%	69.4%
	小学生の保護者	61.6%	↑ 65.1%

「子育てを楽しいと感じることの方が多い」と回答した保護者の割合は、5年前に比べて、小学生の保護者で3.5ポイント上昇しました。

(2) 地域における子育て環境や支援への満足度（アンケート調査から）

■ 就学前児童の保護者の回答	平成25年	平成30年
満足度5（高い）	1.8%	↑ 3.7%
満足度4	13.6%	↑ 19.4%
満足度3	42.7%	43.5%
満足度2	26.1%	↓ 21.8%
満足度1（低い）	11.8%	↓ 8.8%
無効・無回答	3.9%	2.8%

依然として、満足していない割合（満足度1・2の合計）が満足している割合（満足度5・4の合計）を上回っているものの、5年前に比べて改善しています。

※アンケート調査・・・「子ども・子育て支援事業計画策定に向けたニーズ調査」（平成30年度）
（本資料中同じ） 「子ども・子育て支援事業計画策定に向けたアンケート調査」（平成25年度）

(3) 子育てに関して気軽に相談できる人や場所があるか（アンケート調査から）

		平成 25 年	平成 30 年
気軽に相談できる人 や場所が「ある」	就学前児童の保護者	89.8 %	90.2 %
	小学生の保護者	86.1 %	 89.9 %

子育てをする上で気軽に相談できる人や場所があると回答した保護者の割合は、5年前に比べて、小学生の保護者では3.8ポイント上昇しました。

(4) 待機児童数（各年度4月1日時点）

	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年
全体(0~5歳)	21人	19人	12人	37人	70人	45人
(うち0~2歳)	(19人)	(17人)	(11人)	(32人)	(67人)	(43人)

0~2歳児の保育定員が充分でないことから0~2歳児の待機児童が多い傾向が続いています。今後も依然として0~2歳児の保育ニーズが多いと予想されることから、第2期子ども未来プランに沿って保育定員の拡充を進め、早期の待機児童解消を図ります。

2. 大柱2のアウトカム指標

大柱2	安心して子どもを産み育てやすい環境づくり
中柱	(1) 子どもと母親の健康づくり (2) 子どもが健やかに育つ家庭環境づくり
アンケート調査結果等から求める姿	●子育てをするうえで、不安やストレスがないようなまちを目指します。

(1) 子育てをする上での、不安やストレスの有無（アンケート調査から）

		平成25年	平成30年
よくある	就学前児童の保護者	17.3%	↑ 20.6%
	小学生の保護者	15.3%	↑ 16.5%

5年前に比べ、不安やストレスが「よくある」と回答した保護者の割合が上昇しています。今後、第2期子ども未来プランに沿って、妊娠前、妊娠、出産、子育てを通じて母子の健康が確保されるような支援を進めるとともに、様々な悩みに対して、切れ目なく、きめ細やかな支援を進めます。

3. 大柱3のアウトカム指標

大柱3	子どもと青少年が心身ともに健やかに成長するための環境づくり
中柱	(1) 子どもの生きる力の育成に向けた学校教育の推進 (2) 放課後児童の居場所の確保 (3) 子どもと青少年の多様な体験、社会参加、キャリアアップの促進 (4) 青少年を取り巻く環境の健全化
アンケート調査結果等から求める姿	●地域における子育て環境が充実するようなまちを目指します。

(1) 地域における子育て環境や支援への満足度（アンケート調査から）

■小学生の保護者の回答	平成25年	平成30年
満足度5（高い）	3.0%	2.4%
満足度4	12.3%	↑ 15.7%
満足度3	42.2%	46.1%
満足度2	28.6%	↓ 23.6%
満足度1（低い）	10.2%	10.5%
無効・無回答	3.7%	1.7%

依然として、満足していない割合（満足度1・2の合計）が満足している割合（満足度5・4の合計）を上回っているものの、5年前に比べて改善しています。

4. 大柱4のアウトカム指標

大柱4	仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
中柱	(1) 仕事と生活の調和の推進に向けた環境づくり (2) 仕事と子育ての調和した家庭づくりに向けた啓発
アンケート調査結果等から求める姿	●仕事と子育ての両立が実現できるようなまちを目指します。

(1) 子育てを主に行っている方（アンケート調査から）

		平成25年		平成30年
父母ともに	就学前児童の保護者	51.1%	↗	55.0%
	小学生の保護者	53.9%	↗	58.3%
主に母親	就学前児童の保護者	45.1%	↘	43.3%
	小学生の保護者	40.8%	↘	38.1%

5年前に比べ、子育ての主な担い手として「父母ともにに行っている」と回答した割合が増加し、「主に母親が行っている」と回答した割合が減少しています。

(2) 多様な保育サービスの提供状況

	平成26年	令和元年
認定こども園	0か所	21か所
保育所	41か所	37か所
幼稚園での預かり保育事業	36か所	公立を除き 全園実施
一時預かり事業	8か所	8か所
延長保育事業	全園実施	全園実施
休日保育事業	1か所	1か所
病児・病後児保育事業	1か所	1か所
放課後児童クラブ	54か所	72か所
利用者支援事業（基本型・特定型・母子保健型）	0か所	3か所

平成27年以降、認定こども園移行等をはじめ、放課後児童クラブの増設、利用者支援事業の開始等を進めました。今後も、第2期子ども未来プランに沿って、仕事と子育ての両立を支援する多様な保育サービスをさらに充実させるとともに、必要とする人が必要な時にサービスを受けられるよう情報を提供します。

5. 大柱5のアウトカム指標

大柱5	特に支援を必要とする子どもとその家庭への支援の充実
中柱	(1) 児童虐待防止対策の充実 (2) ひとり親家庭の自立支援の推進 (3) 障害児施策の推進 (4) 社会的養護体制の充実 (5) 子どもの貧困対策
アンケート調査結果等から求める姿	●児童虐待の予防等につとめ、子どもが健やかに育つことができるようなまちを目指します。

(1) 児童虐待相談件数（各年度件数）

平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
616件	572件	635件	611件	719件	762件

5年前に比べ、児童虐待相談件数は増加しています。

今後も、第2期子ども未来プランに沿って、子育てに伴う不安や悩みを抱える家庭に対して早期にニーズを組み取り、児童虐待を予防します。また、市の関係機関の連携により、児童虐待の早期発見及び早期対応に努めます。